



平成 30 年 8 月 22 日
佐賀大学理工学部

第 37 回分子病理学研究会はがくれシンポジウムにて大学院生が 優秀演題賞を受賞

【概要】

2018 年 7 月 8 日（日）に、第 37 回分子病理学研究会はがくれシンポジウムが佐賀大学鍋島キャンパスで開催され、循環物質化学専攻博士前期課程 1 年の岩本 結衣さんが優秀演題賞を受賞しました。

【本文】

2018 年 7 月 7 日（土）、8 日（日）の 2 日間にわたり、第 37 回分子病理学研究会はがくれシンポジウムが佐賀大学鍋島キャンパスで開催されました。本研究会は、毎年全国各地にて開催されており、医学や分子生物学の範疇を超え、あらゆる領域の自然科学をじっくり愉しめる伝統ある研究会です。ポスター発表、講演を通して、活発な議論、討論が行われ、有意義な研究会となりました。

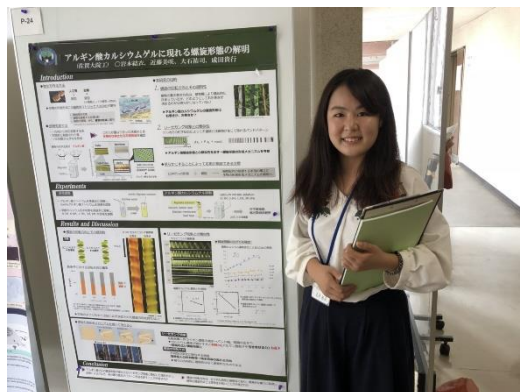
本研究会では、厳格な審査のもとで、優れた研究成果と発表を兼ね備えたポスター発表を行った学生を表彰しています。循環物質化学専攻 博士前期課程 1 年の岩本 結衣さんが優秀演題賞を受賞しました。おめでとうございます。

○優秀演題賞

循環物質化学専攻 博士前期課程 1 年 岩本 結衣 さん

題 目：アルギン酸カルシウムゲルに現れる螺旋形態の解明

発表者：岩本 結衣・近藤 美咲・大石 祐司・成田 貴行



受賞した岩本結衣さん